

HULFT Squareアプリケーション仕様書

HRシステム

kaonavi

1.0 版 | 2023 年 12 月 5 日

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション Overview

本アプリケーションについて

本アプリケーションはkaonaviとのデータ連携を行うためのスクリプトのサンプルをアプリケーション化したものとなる
機能については機能一覧シートを参照
コピー後、状況に合わせてカスタマイズすることを推奨する
コピー後、編集なしでスクリプトを実行する場合は、実行前にスクリプトのビルド（デザイナー画面赤枠）を実施する



INDEX

本アプリケーションについて

- ・機能一覧

スクリプト利用手順

- ・設定フロー
- ・コネクション設定(kaonavi側)
- ・コネクション設定(HULFT Square側)
- ・スクリプト利用上注意

スクリプト詳細

- ・スクリプト設定(get_token)
- ・スクリプト設定(get_members)
- ・スクリプト設定(get_fields_list)
- ・スクリプト設定(get_sheets_list)
- ・スクリプト設定(alternate_input)
- ・スクリプト設定(update_custom_field)
- ・スクリプト設定(update_custom_sheet)
- ・スクリプト設定(update_member_fluid)
- ・スクリプト設定(upsert_member)
- ・スクリプト設定(DEMO_script)

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
機能一覧

本アプリケーションの機能

後述のスク립トを利用することで実現できる機能一覧

機能概要	利用スク립ト
アクセストークンを取得する	[get_token]
入力されたCSVの工程コードを kaonaviのカスタム項目idに書き換える	[alternate_input]
社員情報を取得しCSVに書き出す	[get_token] + [get_members]
社員基本情報のカスタム項目一覧をCSVに書き出す	[get_token] + [get_fields_list]
社員のシートのカスタム項目一覧をCSVに書き出す	[get_token] + [get_sheets_list]
社員情報を登録更新する	[get_token] + [upsert_member]
社員の基本情報のカスタム項目を更新する	[get_token] + [update_custom_field]
社員のシートのカスタム項目を更新する	[get_token] + [update_custom_sheet]
社員情報の複数のカスタム項目を更新する	[get_token] + [update_member_fluid]

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション 設定フロー

本アプリケーションの設定フロー

1. [コネクション設定(kaonavi側)]に沿って設定を行う
 - ・ kaonaviへのAPI接続設定を行い、kaonaviのAPIを利用可能にする
2. [コネクション設定(HULFT_Square側)]に沿って設定を行う
 - ・ HULFT Sqaureからkaonaviへ接続するための設定を作成する
3. [機能一覧]から利用するスクリプトを特定する
 - ・ 利用パターンに合ったスクリプトを特定する
4. [スクリプト利用上注意]を参照し、[get_token]と他スクリプトを結合する
 - ・ スクリプトをセットアップし、利用可能にする

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション コネクション設定(kaonavi側)

コネクション設定

HULFT Squareとkaonaviの接続に必要な設定は以下の通り

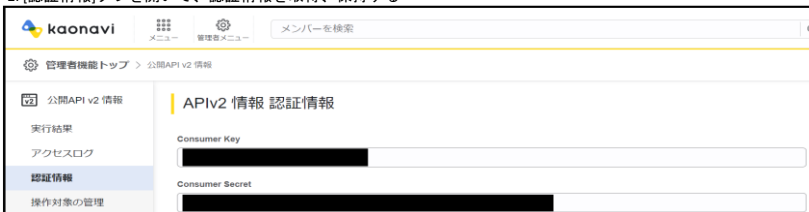
kaonavi側設定(前提条件)

前提条件として、kaonavi側でAPI設定が完了していることが必要である

1. kaonaviログイン後、[管理者メニュー]>[公開API v2 情報]を開く



2. [認証情報]タブを開いて、認証情報を取得、保持する



key	{認証情報のconsumer_key}
secret	{認証情報のconsumer_secret}

*上記{}内に値を入れることで、記入した値を以降の本書の内容に適用可能

3. [検索対象の管理]を開き、メンバー情報(基本情報・兼務情報)の取得/更新/登録にチェックをつける *カスタムオブジェクトや他リソースを利用する場合は、それらについても取得/更新/登録のチェックをつける



kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
コネクション設定(HULFT Square側)

コネクション設定

HULFT Squareとkaonaviの接続に必要な設定は以下の通り

HULFT Square側設定

APIリクエストを送信するための設定を作成する

APIリクエスト用コネクション設定

コネクタタイプ	REST接続
名前	任意
ワークスペース	任意
説明	任意
URL設定	https://api.kaonavi.jp/api/v2.0
プロフィール	任意

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト利用上注意

利用について

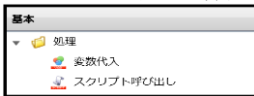
- ・後述するスクリプトは認証スクリプトと他のスクリプトを連結させて使用する必要がある
- ・カスタム項目の更新を使用する場合、あらかじめkaonavi側でカスタム項目を作成する必要がある
- ・スクリプト[alternate_input]を利用する場合、外部から取得したデータとkaonaviのカスタム項目idの対応表を作成する必要がある
- ・スクリプト[update_custom_sheet]を利用する場合、カスタムシートと必須のカスタム項目を作成する必要がある
- ・スクリプト「update_member_fluid」を利用する場合、kaonaviのカスタム項目の一意IDを含めた指定のカラム構成のCSVを準備する必要がある
- ・想定と異なる出力結果、もしくは異常終了した場合、HSQの実行ログを参照しエラーを確認する必要がある
(後述の「エラーログの収集について」を参照)

スクリプト連結方法

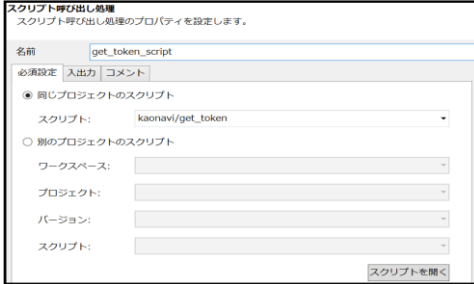
1. プロジェクトエクスプローラーの利用スクリプトを作成したい場所に新規のスクリプトを作成する



2. 右のツールパレットから中央のスクリプトのフィールドに[基本]>[処理]>[スクリプト呼び出し]を配置する



3. [必須設定]タブで名前と呼び出すスクリプトを指定する



4. [入出力]タブで入出力変数を設定し完了をクリックする *指定されたスクリプトに入出力変数がある場合、それらは自動で設定される
今回の場合はスクリプト「get_token」で取得した情報を他スクリプトに渡すため、出力変数[token]を設定する



5. フィールドに追加で[スクリプト呼び出し]を配置し、[必須設定]タブで名前と呼び出すスクリプトを指定する

スクリプト呼び出し処理
スクリプト呼び出し処理のプロパティを設定します。

名前:

必須設定 | 入出力 | コメント

☒ 同じプロジェクトのスクリプト

スクリプト:

☐ 別のプロジェクトのスクリプト

ワークスペース:

プロジェクト:

バージョン:

スクリプト:

[スクリプトを開く](#)

6. [入出力]タブで入出力変数を設定し完了をクリックする *指定されたスクリプトに入出力変数がある場合、それらは自動で設定される
今回の場合はスクリプト「get_token」で取得した情報を受け取るため、入力変数[token]を設定し、
値に手順3で作成したスクリプト呼び出しのコンポーネント変数[スクリプト呼び出し名:token]を指定

スクリプト呼び出し処理
スクリプト呼び出し処理のプロパティを設定します。

名前:

必須設定 | 入出力 | コメント

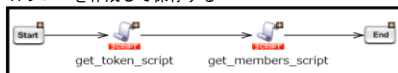
☐ 一覧を手動で設定 [再読み込み](#)

入力変数

変数名	型	値
token	文字列型	\$ (get_token_script.token)

[追加](#) [削除](#)

7. フローを作成して保存する



kaonaviでのカスタム項目の作成方法について

1. kaonavi管理者としてログインし、[管理者メニュー]から[レイアウト設定]をクリックする

kaonavi | メニュー | 管理者メニュー | メンバーを検索

管理者機能トップ

マスター設定 | メンバー管理 | ユーザー設定 | その他

レイアウト設定
基本情報、シート情報およびマイボートのレイアウトを作成・変更できます。

CSV入出力
基本情報およびシート情報のデータをCSVファイルで入出力できます。

ユーザー管理
ユーザーの作成・編集・削除等ができます。

IPアドレス制限
IPアドレスにアクセスできる権限をIPアドレスで制限できます。

所属ツール管理
所属(組織)のマスターを作成・編集・追加・削除できます。

ファイル入出力
添付ファイルの一括アップロード・ダウンロードができます。

ユーザー環境
ユーザーの動作環境を参照できます。

パスワード設定
ユーザーパスワードの共通ルールを設定できます。

2. [基本情報]タブの[レイアウトの編集]をクリックする
シートを編集する場合は[シート]タブの[レイアウト編集]をクリックする

管理者機能トップ > レイアウト設定 > 基本情報 [ダウンロードをダウンロード](#)

基本情報 | シート | マイボート

基本情報 (主観・主観) の変更確認を有効 ☒ [レイアウトを編集](#)

社員番号: 生年月日: 年齢: 性別: 雇用形態: 所属区分: 中退: メール: 入社日: 勤続年数: 退職日: 等級: 職種:

3. 下部の項目パーツ一覧から任意で項目を追加し、ラベルに項目の名前を入力して保存する

* 詳細については下記URLページより探索する

<https://www.kaonavi.jp/download/>

kaonaviでの所属の作成方法について

1. kaonavi管理者としてログインし、[管理者メニュー]から[所属ツリー管理]をクリックする



2. [所属の追加]をクリックする



3. 入力項目に適切な値を入力し、[追加]をクリックする

新しい所属を追加

所属コード

所属名

責任者

メモ

リストから選択

追加

スクリプト「update_member_fluid」の入力CSV[fluid_origin]について

当スクリプトで読み込む更新元データのCSVは以下のようなフォーマットである必要がある

社員番号	更新するkaonaviカスタム項目id	項目名	更新する内容
------	---------------------	-----	--------

また、社員番号が同一のレコードは必ず連続する必要がある

(ex.)

a0001	xxxxxxxxxxxx	項目1	更新する内容
a0001	yyyyyyyyyyyy	項目2	更新する内容
a0002	xxxxxxxxxxxx	項目1	更新する内容
a0003	zzzzzzzzzzzz	項目3	更新する内容

スクリプト[update_custom_sheet]について

当スクリプトでは、シート内にカスタム項目を作成する必要がある

またシートには最終更新日を入力するためのカスタム項目を用意する必要がある

1. [管理者メニュー]>[レイアウト設定]>[シート]から新規でシートを作成する



2. 作成したシートをクリックして開き、[レイアウト編集]をクリックして以下のように編集する



3. スクリプト[get_sheets_list]を使用して、作成したシートのidとカスタム項目のidを取得し指定されたスクリプト変数に設定する

エラーのログ収集について

HULFT Squareの実行ログは以下から取得できる
[モニタリング]>[サービス]>[HULFT Integrate]より、該当ログのメニューから[エクスポート]



[alternate_input]における対応表について

当スクリプトは外部データが持っているkaonaviに入れるべき値ののコードをkaonaviのカスタム項目idに書き換えるものとなっている
入力のCSV構造規格は以下の通りを想定する

(入力CSV)

社員番号	項目コード	項目名	更新する内容
------	-------	-----	--------

当スクリプトでは2列目の[項目コード]を[kaonaviのカスタム項目id]に変換するため、以下のような対応表が必要にある
故に以下のような対応表[code_correspondece.csv]を指定のフォルダ(コンポーネント[read_correspondence]で指定されるファイル位置)に格納する必要がある

項目コード	kaonaviカスタム項目id
-------	-----------------

(ex.)	
0001	9869
0002	9870
0003	9871

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(get_token)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonavi APIを利用するためのアクセストークンを取得する
別スクリプトから当スクリプトを[スクリプト呼び出し]コンポーネントで起動し、スクリプト変数[token]を取得して利用する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	get_token

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

token	取得したaccess_tokenの格納先、出力変数
-------	---------------------------

スクリプト詳細設定

コンポーネント名		
create_body		
		
create_body		
コンポーネント概要		
get_tokenのrequest bodyを生成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[client_credentials]	get_token/request/body/form/grant_type/value

コンポーネント名

get_token

TEST

FLASK

get_token

コンポーネント概要

access_tokenを取得

必須設定

接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/token
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	

リクエスト設定

データ入力元	データ
データ入力元形式	フォーム
フォーム設定	grant_type

レスポンス設定

データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	{ "access_token":""," "token_type":""," "expire_in":""," }
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	DISABLE

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/x-www-form-urlencoded;charset=UTF-8	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

認証設定	basic認証
ユーザ	{認証情報のconsumer_key}
パスワード	{認証情報のconsumer_secret}

コンポーネント名

token_variable

LOGO

token_variable

コンポーネント概要

access_tokenをスクリプト変数の格納

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
get_token/root/access_token	単純移送	スクリプト変数[token]

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する

2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する

3. 本アプリケーションをインストールする

4. コンポーネント「get_token」の接続先を設定する
 - ・「必須設定」の「接続先」設定
 - ・「認証設定」の「basic認証」設定

5. スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(get_members)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonaviの社員基本情報を取得する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	get_members

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

token	access_tokenの格納場所、入力変数
-------	------------------------

スクリプト詳細設定

コンポーネント名			
get_members  get_members			
コンポーネント概要			
kaonaviの社員基本情報を取得			
必須設定			
接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照		
パス	/members		
エンコード	UTF-8		
クエリパラメータ			
レスポンス設定			
データ出力先	データ		
データ形式	JSON		
レスポンステンプレート	<pre>{ "updated_at": "", "member_data": [{ "id": 1, "code": "", "name": "", "name_kana": "", "mail": "", "entered_date": "", "retired_date": "", "gender": "", "birthday": "", "age": 25, "years_of_service": "", "department": { "code": "", "name": "", "names": [""] } }, "sub_departments": [{ "code": "", "name": "", "names": [""] }], "custom_fields": [{ "id": 11, "name": "", "values": [""] }]] }</pre>		
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	DISABLE		
ヘッダ設定			
リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		
認証設定			
認証設定	なし		

コンポーネント名		
mapping		
 mapping		
コンポーネント概要		
取得したkaonaviの社員基本情報をcsvにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
get_members/root/member_data/element	単純な繰り返し	write_list_csv/table/row
get_members/root/member_data/element/code	単純移送	write_list_csv/table/row/code
get_members/root/member_data/element/name	単純移送	write_list_csv/table/row/name
get_members/root/member_data/element/name kana	単純移送	write_list_csv/table/row/name kana
get_members/root/member_data/element/mail	単純移送	write_list_csv/table/row/mail
get_members/root/member_data/element/entered_date	単純移送	write_list_csv/table/row/entered_date
get_members/root/member_data/element/retire_date	単純移送	write_list_csv/table/row/retired_date
get_members/root/member_data/element/gender	単純移送	write_list_csv/table/row/gender
get_members/root/member_data/element/age	単純移送	write_list_csv/table/row/age
get_members/root/member_data/element/department/code	単純移送	write_list_csv/table/row/department_code
get_members/root/member_data/element/department/name	単純移送	write_list_csv/table/row/department
コンポーネント名		
write_list_csv		
 write_list_csv		
コンポーネント概要		
社員基本情報をcsvとして出力		
必須設定		
ファイル	/利用するワークスペース名}/kaonavi/member_list.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	code,name,name kana,mail,entered_date,retired_date,gender,age,department,department_code	
書き込み設定		
エンコード	UTF-8	
改行コード	CR+LF	
上書き	enable	
追加書き込み	disable	
1行目に列名を挿入	enable	
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable	

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
- 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
- 本アプリケーションをインストールする
- スクリプト変数の初期値を入力する
 - tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
- コンポーネント「get_members」の接続先を設定する
 - 「必須設定」の「接続先」設定
- コンポーネント「write_list_csv」のファイルを設定する
 - 「必須設定」の「ファイル」設定
- スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(get_fields_list)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonaviの社員基本情報のカスタム項目のリストを取得する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	get_fields_list

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

token	access_tokenの格納場所、入力変数
-------	------------------------

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
get_fields_list	
 get_fields_list	
コンポーネント概要	
kaonaviの社員基本情報のカスタム項目リストを取得	
必須設定	
接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/member_layouts
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	
レスポンス設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": { "name": "社員番号", "required": true, "type": "string", "max_length": 50, "enum": [] }, "name": { "name": "氏名", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "name_kana": { "name": "フリガナ", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "mail": { "name": "メールアドレス", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "entered_date": { "name": "入社日", "required": false, "type": "date", "max_length": null, "enum": [] }, "retired_date": { "name": "退職日", "required": false, "type": "date", "max_length": null, "enum": [] }, "gender": { "name": "性別",</pre>

	<pre>"required": false, "type": "enum", "max_length": null, "enum": ["男性", "女性"] }, "birthday": { "name": "生年月日", "required": false, "type": "date", "max_length": null, "enum": [] }, "department": { "name": "所属", "required": false, "type": "department", "max_length": null, "enum": [] }, "sub_departments": { "name": "兼務情報", "required": false, "type": "department[]", "max_length": null, "enum": [] }, "custom_fields": [{ "id": 100, "name": "血液型", "required": false, "type": "enum", "max_length": null, "enum": ["A", "B", "O", "AB"] }] }</pre>						
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	DISABLE						
ヘッダ設定							
リクエストヘッダ	<table><tr><td>Content-Type</td><td>application/json</td><td></td></tr><tr><td>Kaonavi-Token</td><td>\${token}</td><td></td></tr></table>	Content-Type	application/json		Kaonavi-Token	\${token}	
Content-Type	application/json						
Kaonavi-Token	\${token}						
レスポンスヘッダ	なし						
認証設定							
認証設定	なし						

コンポーネント名		
write_list_mapping		
		
write_list_mapping		
コンポーネント概要		
取得したkaonaviの項目情報をcsvにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
get_field_list/root/custom_fields/element	単純な繰り返し	write_field_list/table/row
get_field_list/root/custom_fields/element/id	単純移送	write_field_list/table/row/id
get_field_list/root/custom_fields/element/name	単純移送	write_field_list/table/row/name

コンポーネント名	
write_field_list	
	
write_fields_list	
コンポーネント概要	
kaonaviから取得した項目情報をcsvとして出力	
必須設定	
ファイル	/利用するワークスペース名/kaonavi/fields_list.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	id,name
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	enable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
- 3.5. スクリプト変数の初期値を入力する
 - ・ tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
4. コンポーネント「get_fields_list」の接続先を設定する
 - ・ 「必須設定」の「接続先」設定
5. コンポーネント「write_fields_list」のファイルを設定する
 - ・ 「必須設定」の「ファイル」設定
6. スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(get_sheets_list)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonaviのシート情報のカスタム項目のリストを取得する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	get_sheets_list

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

token	access_tokenの格納場所、入力変数 *必須
-------	----------------------------

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
get_sheets_list	
	
get_sheets_list	
コンポーネント概要	
kaonaviのシートのカスタム項目リストを取得	
必須設定	
接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/sheet_layouts
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	
レスポンス設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": { "name": "社員番号", "required": true, "type": "string", "max_length": 50, "enum": [] }, "name": { "name": "氏名", "required": true, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "name_kana": { "name": "フリガナ", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "mail": { "name": "メール", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }, "entered_date": { "name": "入社日", "required": false, "type": "date", "max_length": 0, "enum": [] }, "retired_date": { "name": "退職日", "required": false, "type": "date", "max_length": 0, "enum": [] }, "gender": { "name": "性別", "required": false,</pre>

	<pre>"type": "enum", "max_length": 0, "enum": ["女性", "男性"] }, "birthday": { "name": "生年月日", "required": false, "type": "date", "max_length": 0, "enum": [] }, "department": { "name": "所属", "required": false, "type": "department", "max_length": 0, "enum": [] }, "sub_departments": { "name": "兼務情報", "required": false, "type": "department[]", "max_length": null, "enum": [] }, "custom_fields": [{ "id": 11, "name": "採用区分", "required": false, "type": "enum", "max_length": 0, "enum": ["新卒", "中途"] }, { "id": 9581, "name": "AI", "required": false, "type": "string", "max_length": 100, "enum": [] }] }</pre>
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	DISABLE

ヘッダ設定			
リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		
認証設定			
認証設定	なし		

コンポーネント名		
write_list_mapping		
		
write_list_mapping		
コンポーネント概要		
取得したkaonaviのシート情報をcsvにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
get_field_list/root/sheets/element/custom_fields/element	単純な繰り返し	write_sheets_list/table/row
get_field_list/root/sheets/element/name	単純移送	write_sheets_list/table/row/sheet_name
get_field_list/root/sheets/element/id	単純移送	write_sheets_list/table/row/sheet_id
get_field_list/root/sheets/element/custom_fields/element/name	単純移送	write_sheets_list/table/row/field_name
get_field_list/root/sheets/element/custom_fields/element/id	単純移送	write_sheets_list/table/row/field_id

コンポーネント名

write_sheets_list



write_sheets_list

コンポーネント概要

kaonaviから取得したシート情報をcsvとして出力

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/sheets_list.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	sheet_name
	sheet_id
	field_name
	field_id

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	enable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する

2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する

3. 本アプリケーションをインストールする

3.5. スクリプト変数の初期値を入力する
 - tokenを入力（スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要）

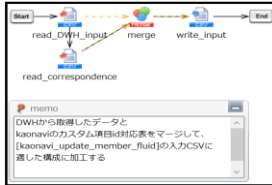
4. コンポーネント「get_sheets_list」の接続先を設定する
 - 「必須設定」の「接続先」設定

5. コンポーネント「write_sheets_list」のファイルを設定する
 - 「必須設定」の「ファイル」設定

6. スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(alternate_input)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

外部から取得したデータについて、対応表([スクリプト利用上注意]参照)をもとに項目idをkaonaviのカスタム項目idに変換する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	alternate_input

外部システムから取り込む値/ファイル

DWH_input.csv	項目構成については各「csvファイル読込」コンポーネントの列一覧を参照
code_correspondence	項目構成については各「csvファイル読込」コンポーネントの列一覧、および[スクリプト利用上注意]を参照

スクリプト変数

なし	なし
----	----

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
read_DWH_input	
コンポーネント概要	
外部データの読込	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース]/kaonavi/DWH_input.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code
	phase_code
	phase_name
	update_value
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	disable *開始行に列一覧を記述している場合は[enable]に変更

コンポーネント名	
read_correspondence	
コンポーネント概要	
カスタム項目id対応表の読込	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース]/kaonavi/code_correspondence.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	phase_code
	custom_field_id
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	disable *開始行に列一覧を記述している場合は[enable]に変更

コンポーネント名

merge


merge

コンポーネント概要

外部データと対応表をマージ

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
read_DWH_input/table/row	And-Integrateマージ(上から順番に)	write_input/table/row
read_DWH_input/table/row/fase_code		
read_correspondence/table/row		
read_correspondence/table/row/fase_code		
read_DWH_input/table/row/emp_code	単純移送	write_input/table/row/emp_code
read_correspondence/table/row/custom_field_id	単純移送	write_input/table/row/custom_field_id
read_DWH_input/table/row/fase_name	単純移送	write_input/table/row/fase_name
read_DWH_input/table/row/value	単純移送	write_input/table/row/value

コンポーネント名

write_input


write_input

コンポーネント概要

マージ結果をcsvとして出力

必須設定

ファイル	{/利用するワークスペース名}/kaonavi/fluid_origin.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code
	custom_field_id
	field_name
	value

書き込み設定

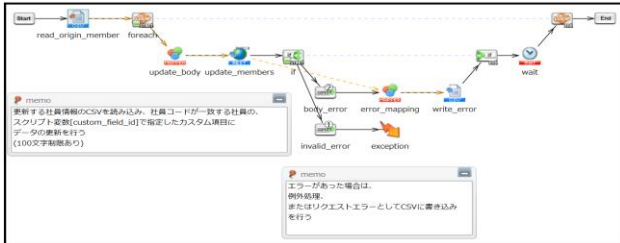
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
- 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
- 本アプリケーションをインストールする
- [スクリプト利用上注意]を参照し、[code_correspondence.csv]を作成し、「read_correspondence」で指定するファイルパスへ格納する
- コンポーネント「read_DWH_input」、「read_correspondence」のファイルを設定する
 - 「必須設定」の「ファイル」設定
- コンポーネント「write_input」のファイルを設定する
 - 「必須設定」の「ファイル」設定
- スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(update_custom_field)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonavi内のメンバー情報の一つのカスタム項目を入力CSVの件数分更新する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	update_members_custom_field

外部システムから取り込む値/ファイル

update_custom_field.csv	更新を行うための社員情報更新元データ
-------------------------	--------------------

スクリプト変数

token	取得したaccess_tokenの格納先、出力変数
custom_field_id	更新を行うkaonavi側のカスタム項目の一意id

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
delete	
 delete	
コンポーネント概要	
エラーを出力するCSVが存在する場合削除	
必須設定	
対象パス	{利用するworkspace}/kaonavi/update_field_error.csv
コンポーネント名	
read_origin_member	
 read_origin_member	
コンポーネント概要	
社員情報更新元データのCSVの読込	
必須設定	
ファイル	{/利用するワークスペース}/kaonavi/update_custom_field.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	社員番号、更新内容
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	disable *開始行に列一覧を記述している場合は[enable]に変更

コンポーネント名

foreach



foreach

コンポーネント概要

社員情報更新元データ1件ごとに処理

必須設定

入力データ	read_ordin_member
1ループでの処理件数	1

コンポーネント名

update_body



update_body

コンポーネント概要

update_membersのrequest bodyを作成

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_members/root/type
単一文字列定数	[object]	update_members/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_members/root/member_data/element/custom_fields/element/type
単一文字列定数	[array]	update_members/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_members/root/member_data/element/custom_fields/type
単一文字列定数	[array]	update_members/root/member_data/element/custom_fields/element/values/type
foreach_origin/table/row/社員番号	単純移送	update_members/root/member_data/element/code
foreach_origin/table/row/更新内容	単純移送	update_members/root/member_data/element/custom_fields/element/values/element
スクリプト変数/custom_field_id	[false]	update_members/root/member_data/element/custom_fields/element/id

コンポーネント名

update_members



update_members

コンポーネント概要

kaonaviの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新

必須設定

接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/members
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	

リクエスト設定

データ入力元	データ
データ入力元形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "custom_fields": [{ "id": 1, "values": [""] }] }] }</pre>

レスポンス設定

データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	設定不要
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	disable

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

認証設定	なし
------	----

コンポーネント名

if / body_error , invalid_error

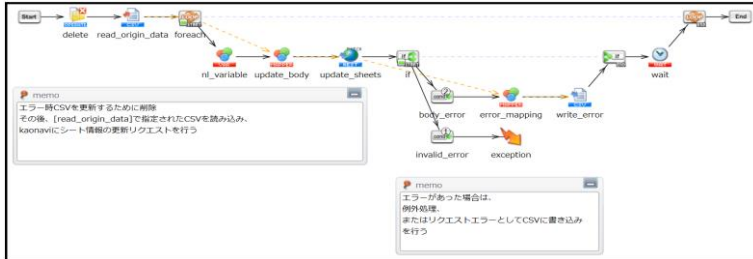
</

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
4. [/({利用するワークスペース}/kaonavi)ディレクトリに[update_custom_field.csv]という名前で社員情報元データを配置する
(または[read_origin_member]のファイルパスに入力に適したCSVファイルのパスを入力する)
5. スクリプト変数の初期値を入力する
 - ・ tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
6. コンポーネント「read_origin_member」のファイルを設定する
 - ・ 「read_origin_member」のファイル設定
7. コンポーネント「update_members」の接続先を設定する
 - ・ 「必須設定」の「接続先」を設定
8. スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(update_custom_sheet)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

kaonaviのシート内にあるカスタム項目の値を最終更新日とともに入力CSVの件数分更新する

- * kaonaviにてカスタムシートとカスタム項目を作成する必要がある
[スクリプト利用上注意]を参照してセットアップする
- * 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、
アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	update_members_custom_field

外部システムから取り込む値/ファイル

update_custom_sheet.csv	更新を行うための社員情報更新元データ
-------------------------	--------------------

スクリプト変数

token	取得したaccess_tokenの格納先、出力変数	*必須
sheet_id	更新対象シートのシートid	*必須 *各idは[get_sheets_list]を試用して出力したCSVを参照
field_id	更新対象のシート内フィールドのid	*必須
date_field_id	更新対象シートの最終更新日時を入れるフィールドのid	*必須
nl	文字列改行用変数	
email	更新元データのemail	
emp_code	更新元データの社員番号	

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
delete	
 delete	
コンポーネント概要	
エラーを出力するCSVが存在する場合削除	
必須設定	
対象パス	{利用するworkspace}/kaonavi/update_sheet_error.csv

コンポーネント名

read_origin_data

read_origin_data

コンポーネント概要

社員情報更新元データのCSVの読込

必須設定

ファイル

/[利用するワークスペース]/kaonavi/update_custom_sheet.csv

デリミタ文字

半角カンマ

列一覧

email

emp_code

update_value

読み取り設定

エンコード

UTF-8

読み取り開始行

1

最初の行は値として取得しない

disable *開始行に列一覧を記述している場合は[enable]に変更

コンポーネント名		
foreach		
 foreach		
コンポーネント概要		
社員情報更新元データ1件ごとに処理		
必須設定		
入力データ	read_origin_member	
1ループでの処理件数	1	

コンポーネント名		
nl_variable		
 nl_variable		
コンポーネント概要		
スクリプト変数[nl]に複数行文字列定数を利用して改行を代入		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
複数行文字列定数	{ *改行 }	スクリプト変数[nl]

コンポーネント名		
update_body		
 update_body		
コンポーネント概要		
update_sheetsのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_sheets/root/type
単一文字列定数	[object]	update_sheets/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/type
単一文字列定数	[object]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/type
単一文字列定数	[object]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/type
単一文字列定数	[array]	update_sheets/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_sheets/root/member_data/element/records/type
単一文字列定数	[array]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/type
単一文字列定数	[array]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/values/type
単一文字列定数	[array]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/values/type
foreach/table/row/emp_code	単純移送	update_members/root/member_data/element/code
foreach/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数[emp_code]
foreach/table/row/update_value	左文字列[399]	
左文字列[399]	文字列ごとに置換[\n/\$\{nl}] (部分一致、部分置換)	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/values/element
日次定数[現在日時]	日時フォーマット [yyyy-MM-dd]	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/values/element
スクリプト変数[field_id]	単純移送	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/id
スクリプト変数[data_field_id]	単純移送	update_sheets/root/member_data/element/records/element/custom_fields/element/id

コンポーネント名

update_sheets



update_sheets

コンポーネント概要

kaonaviのシート情報のカスタム項目をrequest bodyで更新

必須設定

接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照		
パス	/sheets/\${sheet_id}		
エンコード	UTF-8		
クエリパラメータ			

リクエスト設定

データ入力元	データ		
データ入力元形式	JSON		
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "records": [{ "custom_fields": [{ "id": 1000, "values": [""] }], "id": 1001, "values": [""] }] }]}</pre>		

レスポンス設定

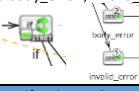
データ出力先	データ		
データ形式	JSON		
レスポンステンプレート	<pre>{ "errors": [""]}</pre>		
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	disable		

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\$(token)	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

認証設定	なし		
------	----	--	--

コンポーネント名			
if / body_error , invalid_error			
 if / body_error , invalid_error			
コンポーネント概要			
update_sheets:status_codeの値で分岐処理			
必須設定			
条件式 (body_error)	変数 update_sheets:status_code が 400 と等しい		
(invalid_error)	変数 update_sheets:status_code が 401 と等しい		
	または 変数 update_sheets:status_code が 404 と等しい		

コンポーネント名			
error_mapping			
 error_mapping			
コンポーネント概要			
errorの内容をwrite_errorにマッピング			
HULFT Square mapper エディタ			
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)	
update_sheets/root/errors/element	[object]	write_error/table/row/error_description	
スクリプト変数[emp_code]	[object]	write_error/table/row/emp_code	

コンポーネント名	
write_error /  write_error	
コンポーネント概要	
エラー情報をcsvとして出力	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/update_sheet_error.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code error_description
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	enable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

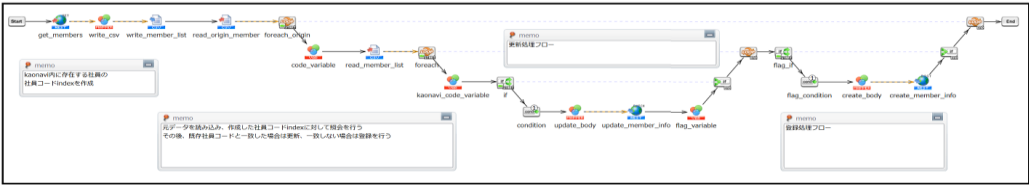
コンポーネント名	
exception  exception	
コンポーネント概要	
エラーとして処理を止めて通知	
必須設定	
メッセージ	API利用のためのパラメータ値が不正(token,sheet_id)

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
- 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
- 本アプリケーションをインストールする
- /[利用するワークスペース]/kaonaviディレクトリに[member_origin.csv]という名前で社員情報元データを配置する
(または[read_origin_data]のファイルパスに入力に適したCSVファイルのパスを入力する)
- スクリプト変数の初期値を入力する
 - tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
 - sheet_idを入力
 - field_id 各idはスクリプト[get_sheets_list]を利用して取得できる
 - date_field_idを入力 date_field_idには更新日付を入れるカスタム項目のidを入力する
- コンポーネント「read_origin_data」のファイルを設定する
 - ファイル設定
- コンポーネント「update_sheets」の接続先を設定する
 - 「必須設定」の「接続先」を設定
- スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(upsert_member)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

元データとなる社員情報CSVデータをkaonaviへupsertする

- * 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある
- * 課コードにkaonaviに存在しない所属コードを入れた場合エラーとなる(スクリプトは中断しない)ため、kaonaviに所属が存在しない場合は所属を登録する必要がある(スクリプト利用上注意を参照)

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	upsert_member

外部システムから取り込む値/ファイル

members_origin.csv	upsertのための社員情報元データ
--------------------	--------------------

スクリプト変数

token	access_tokenを格納するスクリプト変数 入力変数 * 必須
member_code	社員情報元データの社員番号を格納
kaonavi_emp_code	kaonaviの社員番号を格納
flag	insert or updateを判断するためのフラグ
name	社員元データの社員名
name_kana	社員元データの社員名(カナ)
mail	社員元データのメールアドレス
gender	社員元データの性別
department_code	社員元データの所属コード (kaonavi側所属コードと元データの所属コードが同じ所属を示す必要あり)
entered_date	入社年月日
retired_date	退職年月日

スクリプト詳細設定

コンポーネント名

get_members



get_members

コンポーネント概要

kaonaviの社員基本情報を取得

必須設定

接続先	{リクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照		
パス	/members		
エンコード	UTF-8		
クエリパラメータ			

レスポンス設定

データ出力先	データ		
データ形式	JSON		

レスポンステンプレート

```
{
  "updated_at": "",
  "member_data": [
    {
      "id": 1,
      "code": "",
      "name": "",
      "name_kana": "",
      "mail": "",
      "entered_date": "",
      "retired_date": "",
      "gender": "",
      "birthday": "",
      "age": 25,
      "years_of_service": "",
      "department": {
        "code": "",
        "name": "",
        "names": [
          ""
        ]
      }
    },
    {
      "code": "",
      "name": "",
      "names": [
        ""
      ]
    }
  ],
  "sub_departments": [
    {
      "code": "",
      "name": "",
      "names": [
        ""
      ]
    }
  ],
  "custom_fields": [
    {
      "id": 11,
      "name": "",
      "values": [
        ""
      ]
    }
  ]
}
```

レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする

DISABLE

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

認証設定	なし
------	----

コンポーネント名

write_csv



write_csv

コンポーネント概要

kaonaviから取得した社員基本情報をcsvにマッピング

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
get_members/root/member_data/element	単純な繰り返し	write_member_list/table/row
get_members/root/member_data/element/code	単純移送	write_member_list/table/row/emp_code

コンポーネント名	
write_member_list	
	
write_member_list	
コンポーネント概要	
kaonaviから取得した既存社員データの社員番号リストをCSVとして出力	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/member_id_list.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名	
read_origin_member	
	
read_origin_member	
コンポーネント概要	
社員情報元データのCSVの読込	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース]/kaonavi/member_origin.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code,メールアドレス,姓,名,セイ,メイ,性別,年齢,生年月日,雇用ステータス,雇用保険番号,厚生年金番号,健康保険番号,基礎年金番号,事業部コード,事業部名,部門コード,部門名,課コード,課名,役職,入社日,退職日,郵便番号,住所1,住所2,住所3,電話番号,更新日,削除フラグ
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	enable *開始行に列一覧を記述していない場合は[disable]に変更

コンポーネント名	
foreach_origin	
	
foreach_origin	
コンポーネント概要	
社員情報元データ1件ごとに処理	
必須設定	
入力データ	read_origin_member
1ループでの処理件数	1

コンポーネント名		
code_variable		
		
code_variable		
コンポーネント概要		
社員情報元データのデータを各スクリプト変数に格納		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach_origin/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数/member_code
foreach_origin/table/row/メールアドレス	単純移送	スクリプト変数/mail
foreach_origin/table/row/姓	文字列連結(name)	スクリプト変数/name
foreach_origin/table/row/名	文字列連結(name)	
foreach_origin/table/row/セイ	文字列連結(name_kana)	スクリプト変数/name_kana
foreach_origin/table/row/メイ	文字列連結(name_kana)	
foreach_origin/table/row/性別	文字列連結(gender)	スクリプト変数/gender
foreach_origin/table/row/課コード	単純移送	スクリプト変数/department_code
foreach_origin/table/row/入社日	単純移送	スクリプト変数/entered_date
foreach_origin/table/row/退職日	単純移送	スクリプト変数/retired_date
単一行文字列定数	[false]	スクリプト変数/flag
単一行文字列定数	[] *半角スペース	文字列連結(name,name_kana)
単一行文字列定数	[性]	文字列連結(gender)

コンポーネント名

read_member_list

read_member_list

コンポーネント概要

kaonaviから取得した社員番号リストのCSVを読み

必須設定

ファイル

/[利用するワークスペース]/kaonavi/member_id_list.csv

デリミタ文字

半角カンマ

列一覧

emp_code

読み取り設定

エンコード

UTF-8

読み取り開始行

1

最初の行は値として取得しない

disable

コンポーネント名		
foreach		
 foreach		
コンポーネント概要		
kaonavi社員番号リスト1件ごとに処理		
必須設定		
入力データ	read_member_list	
1ループでの処理件数	1	

コンポーネント名		
kaonavi_code_variable		
 kaonavi_code_variable		
コンポーネント概要		
kaonavi社員番号1件をスクリプト変数に格納		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数/kaonavi_emp_code

コンポーネント名		
if / condition		
 condition		
コンポーネント概要		
member_codeとkaonavi_emp_codeが一致する時処理		
必須設定		
条件式	変数 kaonavi_emp_code が 変数 member_code と等しい	

コンポーネント名		
update_body		
 update_body		
コンポーネント概要		
update_member_infoのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/type
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/member_data/element/department/type
単一文字列定数	[array]	update_member_info/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_member_info/root/member_data/element/sub_departments/type
スクリプト変数/member_code	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/code
スクリプト変数/mail	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/mail
スクリプト変数/name	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/name
スクリプト変数/name_kana	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/name_kana
スクリプト変数/gender	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/gender
スクリプト変数/department_code	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/department/code
スクリプト変数/entered_date	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/entered_date
スクリプト変数/retired_date	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/retired_date
単一行文字列定数	[false]	スクリプト変数/flag
単一行文字列定数	[] *半角スペース	文字列連結(name,name_kana)
単一行文字列定数	[性]	文字列連結(gender)

コンポーネント名			
update_member_info			
			
update_member_info			
コンポーネント概要			
kaonaviの社員情報をrequest bodyで更新			
必須設定			
接続先	{APIリクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照		
パス	/members		
エンコード	UTF-8		
クエリパラメータ			
リクエスト設定			
データ入力元	データ		
データ入力元形式	JSON		
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "name": "", "name_kana": "", "mail": "", "entered_date": "", "retired_date": "", "gender": "", "birthday": "", "department": { "code": "" }, "sub_departments": [] }] }</pre>		
レスポンス設定			
データ出力先	データ		
データ形式	JSON		
レスポンステンプレート	設定不要		
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	disable		
ヘッダ設定			
リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		
認証設定			
認証設定	なし		
コンポーネント名			
flag if / flag condition			
			
flag_condition			
コンポーネント概要			
スクリプト変数(flag)と固定値(false)が一致する時処理			
必須設定			
条件式	変数 flag が false と等しい		

コンポーネント名

create_body


create_body

コンポーネント概要

create_member_infoのrequest bodyを作成

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/type
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_member_info/root/member_data/element/department/type
単一文字列定数	[array]	update_member_info/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_member_info/root/member_data/element/sub_departments/type
スクリプト変数/member_code	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/code
スクリプト変数/mail	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/mail
スクリプト変数/name	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/name
スクリプト変数/name_kana	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/name_kana
スクリプト変数/gender	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/gender
スクリプト変数/department_code	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/department/code
スクリプト変数/entered_date	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/entered_date
スクリプト変数/retired_date	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/retired_date
foreach_origin/table/row/入社日	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/code
foreach_origin/table/row/退職日	単純移送	update_member_info/root/member_data/element/code
単一行文字列定数	[false]	スクリプト変数/flag
単一行文字列定数	[] *半角スペース	文字列連結(name,name_kana)
単一行文字列定数	[性]	文字列連結(gender)

コンポーネント名

create_member_info


create_member_info

コンポーネント概要

kaonaviの社員情報へcreate bodyの内容で登録

必須設定

接続先	{API リクエスト用コネクション} * [コネクション設定(HULFT Square側)]参照		
パス	/members		
エンコード	UTF-8		
クエリパラメータ			

リクエスト設定

データ入力元	データ
データ入力元形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "name": "", "name_kana": "", "mail": "", "entered_date": "", "retired_date": "", "gender": "", "birthday": "", "department": { "code": "" }, "sub_departments": [] }] }</pre>

レスポンス設定

データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポステンプレート	設定不要
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	disable

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\${token}	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

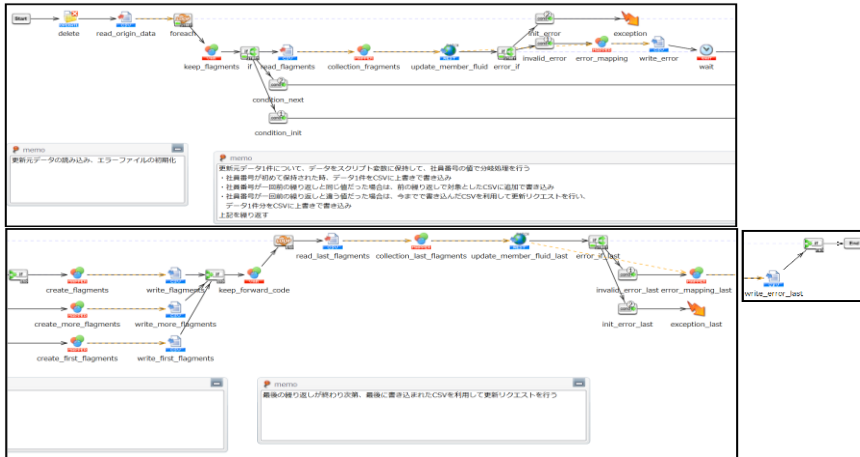
認証設定	なし
------	----

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
4. [/利用するワークスペース/kaonavi]ディレクトリに[member_origin.csv]という名前で社員情報元データを配置する
5. スクリプト変数の初期値を入力する
 - ・tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
6. コンポーネント「read_origin_member」、「read_member_list」、「write_member_list」のファイルを設定する
 - ・「read_origin_member」のファイル設定
 - ・「read_member_list」、「write_member_list」のファイル設定(同じファイルを指定する)
7. コンポーネント「get_members」、「update_member_info」、「create_member_info」の接続先を設定する
 - ・「必須設定」の「接続先」を設定
8. スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(update_member_fluid)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

社員情報カスタム項目の更新元データを利用して、kaonaviの社員基本情報の複数のカスタム項目を更新する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	update_member_fluid

外部システムから取り込む値/ファイル

fluid_origin.csv	updateのための元データCSV *カラム構成は[スクリプト利用上注意]を参照
------------------	--

スクリプト変数

token	access_tokenを格納するスクリプト変数 入力変数 * 必須
member_code	更新元データの社員番号を格納
forward_code	更新元データの1レコード前の社員番号を格納 (初期値は[initialized])
custom_field_id	kaonaviのカスタム項目の一意id
update_value	更新内容

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
delete	
	
delete	
コンポーネント概要	
エラーを出力するCSVが存在する場合削除	
必須設定	
対象パス	{利用するworkspace}/kaonavi/update fluid_error.csv

コンポーネント名		
read_origin_data  read_origin_data		
コンポーネント概要		
社員情報更新元データのCSVの読込		
必須設定		
ファイル	/[利用するワークスペース]/kaonavi/fluid_origin.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	emp_code、custom_field_id、update_value	
読み取り設定		
エンコード	UTF-8	
読み取り開始行	1	
最初の行は値として取得しない	disable *開始行に列一覧を記述している場合は[enable]に変更	

コンポーネント名		
foreach  foreach		
コンポーネント概要		
社員情報更新元データ1件ごとに処理		
必須設定		
入力データ	read_origin_data	
1ループでの処理件数	1	

コンポーネント名		
keep_flagments  keep_flagments		
コンポーネント概要		
更新データ1件分のデータをスクリプト変数に格納		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
foreach/table/row/emp_code	単純移送	スクリプト変数/emp_code
foreach/table/row/custom_field_id	単純移送	スクリプト変数/custom_field_id
foreach/table/row/update_value	単純移送	スクリプト変数/update_value

コンポーネント名		
if / condition_init , condition_next  ts if		
コンポーネント概要		
emp_codeとforward_codeの関係で分岐処理		
必須設定		
条件式 (condition_next)	変数 emp_code が 変数 forward_code と等しい	
(condition_init)	変数 forward_code が 'initialized' と等しい	

コンポーネント名		
read_flagments  read_flagments		
コンポーネント概要		
更新元データの一つの社員番号における更新すべきカスタム項目のidと更新内容のリストCSVを読込		
必須設定		
ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/fluid_flagments.csv	
デリミタ文字	半角カンマ	
列一覧	custom_field_id、update_value	
読み取り設定		
エンコード	UTF-8	
読み取り開始行	1	
最初の行は値として取得しない	disable	

コンポーネント名		
collection_fragments		
 collection_fragments		
コンポーネント概要		
update_member_fluidのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/type
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/values/type
read_fragments/table/row	単純な繰り返し	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element
read_fragments/table/row/custom_field_id	単純移送	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/id
read_fragments/table/row/update_value	単純移送	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/values/element
スクリプト変数/emp_code	[false]	update_member_fluid/root/member_data/element/code

コンポーネント名

update_member_fluid



update_member_fluid

コンポーネント概要

kaonaviの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新

必須設定

接続先	{API}リクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/members
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	

リクエスト設定

データ入力元	データ
データ入力元形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "custom_fields": [{ "id": 1, "values": [""] }] }] }</pre>

レスポンス設定

データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	設定不要
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	disable

ヘッダ設定

リクエストヘッダ	Content-Type	application/json	
	Kaonavi-Token	\$(token)	
レスポンスヘッダ	なし		

認証設定

認証設定	なし
------	----

コンポーネント名	
error_if / init_error , invalid_error	
 error_if	
コンポーネント概要	
update_member_fluidのHTTP response status codeで分岐処理	
必須設定	
条件式 (invalid_error)	変数 update_member_fluid:status_code が 400 と等しい
(init_error)	変数 update_member_fluid:status_code が 401 と等しい
	または 変数 update_member_fluid:status_code が 404 と等しい

コンポーネント名

error_mapping



error_mapping

コンポーネント概要

errorの内容をwrite_errorにマッピング

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
update_member_fluid/root/errors/element	[object]	write_error/table/row/error_description
スクリプト変数[emp_code]	[object]	write_error/table/row/emp_code

コンポーネント名

write_error



write_error

コンポーネント概要

エラー情報をcsvとして出力

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/update_fluid_error.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code
	error_description

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	enable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名

exception



exception

コンポーネント概要

エラーとして処理を止めて通知

必須設定

メッセージ	API利用のためのパラメータ値が不正(token)
-------	---------------------------

コンポーネント名

wait



wait

コンポーネント概要

指定時間待機

必須設定

待機時間	12秒 *更新リクエストリミット解決のため
------	-----------------------

コンポーネント名

create_flagemnts/create_first_flagments/create_more_flagments



create_flagemnts create_first_flagments create_more_flagments

コンポーネント概要

スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをcsv書き込みにマッピング

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数/custom_field_id	単純移送	write_flagments/table/row/custom_field_id
スクリプト変数/update_value	単純移送	write_flagments/table/row/update_value

コンポーネント名

write_flagments



write_flagments

コンポーネント概要

スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名

write_first_flagments

write_first_flagments

コンポーネント概要

スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、 update_value

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	disable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名

write_more_flagments



write_more_flagments

コンポーネント概要

スクリプト変数に格納された更新元データ1件分のデータをCSV書き込み

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	enable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名		
keep_forward_code		
 keep_forward_code		
コンポーネント概要		
update_member_fluidのrequest bodyを作成		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数/emp_code	単純移送	スクリプト変数/forward_code

コンポーネント名	
read_last_flagments	
	
read_last_flagments	
コンポーネント概要	
更新元データの一つの社員番号における更新すべきカスタム項目のidと更新内容のリストCSVを読み込	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/fluid_flagments.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	custom_field_id、update_value
読み取り設定	
エンコード	UTF-8
読み取り開始行	1
最初の行は値として取得しない	disable

コンポーネント名

collection_last_flagments



collection_last_flagments

コンポーネント概要

update_member_fluid_lastのrequest bodyを作成

HULFT Square mapper エディタ

入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/type
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/member_data/element/type
単一文字列定数	[object]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/type
単一文字列定数	[array]	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/values/type
read_flagments/table/row	単純な繰り返し	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element
read_flagments/table/row/custom_field_id	単純移送	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/id
read_flagments/table/row/update_value	単純移送	update_member_fluid/root/member_data/element/custom_fields/element/values/element
スクリプト変数/emp_code	[false]	update_member_fluid/root/member_data/element/code

コンポーネント名	
update_member_fluid_last	
	
update_member_fluid_last	
コンポーネント概要	
kaonaviの社員情報のカスタム項目をrequest bodyで更新	
必須設定	
接続先	{API リクエスト用コネクション} *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/members
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	
リクエスト設定	
データ入力元	データ
データ入力元形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "member_data": [{ "code": "", "custom_fields": [{ "id": 1, "values": [""] }] }] }</pre>
レスポンス設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	設定不要
レスポンスのステータスコードが4xx、5xxの場合エラーにする	disable
ヘッダ設定	
リクエストヘッダ	Content-Type application/json
	Kaonavi-Token \${token}
レスポンスヘッダ	なし
認証設定	
認証設定	なし

コンポーネント名		
error_if_last / init_error_last, invalid_error_last		
		
コンポーネント概要		
update_member_fluid_lastのHTTP response status codeで分岐処理		
必須設定		
条件式 (invalid_error_last)	変数 update_member_fluid_last:status_code が 400 と等しい	
(init_error_last)	変数 update_member_fluid_last:status_code が 401 と等しい	
	または 変数 update_member_fluid_last:status_code が 404 と等しい	

コンポーネント名		
error_mapping_last		
		
コンポーネント概要		
errorの内容をwrite_errorにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
update_member_fluid_last/root/errors/element	[object]	write_error/table/row/error_description
スクリプト変数[emp_code]	[object]	write_error/table/row/emp_code

コンポーネント名

write_error_last

write_error_last

コンポーネント概要

エラー情報を csv として出力

必須設定

ファイル	/[利用するワークスペース名]/kaonavi/update_fluid_error.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	emp_code error_description

書き込み設定

エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	enable
追加書き込み	enable
1行目に列名を挿入	disable
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	disable

コンポーネント名		
exception		
		
コンポーネント概要		
エラーとして処理を止めて通知		
必須設定		
メッセージ	API利用のためのパラメータ値が不正(token)	

スクリプト利用手順

- 「コネクション設定(kaonavi側)」を設定する
- 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
- 本アプリケーションをインストールする
- [/[利用するワークスペース]/kaonavi]ディレクトリに[fluid_origin.csv]という名前で社員情報元データを配置する
- スクリプト変数の初期値を入力する
 - tokenを入力 (スクリプト呼び出しにて、スクリプト変数[token]に値を入力した場合は不要)
- コンポーネント「read_origin_data」、「read_flagments」、「write_flagments」、「write_first_flagments」、「write_more_flagments」のファイルを設定する
 - 「read_origin_member」のファイル設定
 - 「write_flagments」、「write_first_flagments」、「write_more_flagments」のファイル設定(同じファイルを指定する)
 - 「read_flagments」のファイル設定(「write_flagments」で指定したファイルを指定する)
- コンポーネント「update_member_fluid」、「update_member_fluid_last」の接続先を設定する
 - 「必須設定」の「接続先」を設定
- スクリプトを実行する

kaonavi向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(DEMO_script)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

下記2種のスクリプトを一つにつなげて実行できる

kaonavi_get_token
kaonavi_update_custom_sheet

kaonaviのAPI利用のためのトークン取得からシート情報の更新までを一括で行う

* 本スクリプトの利用には、前述の2スクリプトがあらかじめ同プロジェクトにコピーされていて、スクリプト利用手順の設定も完了していることが前提である

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、
アプリケーションをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	kaonavi
格納フォルダ名	
スクリプト名	DEMO_script

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

token	access_tokenの格納場所、入力変数 *必須
-------	----------------------------

スクリプト詳細設定

コンポーネント名

get_token

→

get_token

コンポーネント概要

スクリプト[get_token]を実行

必須設定

同じプロジェクトの
スクリプト

get_token

入出力設定

	変数名	型	値
入力変数	なし		
出力変数	token	文字列型	

コンポーネント名

update_custom_sheet

→

update_custom_sheet

コンポーネント概要

スクリプト[update_custom_sheet]を実行

必須設定

同じプロジェクトの
スクリプト

update_custom_sheet

入出力設定

	変数名	型	値
入力変数	token	文字列型	\$(get_token:token)
出力変数	なし		

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(GMOサイン側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. アプリケーションをインストールし、同梱されている本スクリプトをコピーして任意のプロジェクトにコピーする
4. スクリプト呼び出しコンポーネント初期化をおこなう
 - ・ 以下コンポーネントのプロパティを開き、「同じプロジェクトのスクリプト」欄に表示されている名称が下記と同様であることを確認し、完了ボタンを押下
 kaonavi_get_token
 kaonavi_update_custom_sheet
5. スクリプトを実行する